

日本テレビ通り沿道まちづくり協議会（第3回） 会議録要旨

■日 時：平成30年5月24日（木）15:30～16:40

■場 所：麴町出張所・区民館 B1F 洋室B

■出席者：日本テレビ通り沿道まちづくり協議会 委員 20名

二番町町会：2名

四番町町会：2名

五番町町会：1名

六番町町会：1名

麴町三丁目町会：1名

麴町四丁目町会：1名

九段四丁目町会：1名

日本テレビ通り振興会：1名

日テレ通りまちづくり委員会：1名

市ヶ谷駅周辺まちづくり協議会：2名

麴町学園女子中学校高等学校：1名

公益財団法人日本棋院：1名

日本テレビ放送網株式会社：2名

東京急行電鉄株式会社：1名

学識経験者：明治大学理工学部建築学科 山本 俊哉教授

千代田区環境まちづくり部：大森 幹夫まちづくり担当部長

(事務局)

千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課

■議 事：

- (1) 番町・麴町地域の地区計画の概要について
- (2) 日本テレビ通り まちづくり方針（案）地域ルール編
- (3) 日本テレビ通り沿道まちづくり基本構想（素案）について

■配布資料

- ・次第
- ・席次表
- ・第2回会議録要旨
- ・資料1：番町・麴町地域の地区計画の概要
- ・資料2：日本テレビ通り沿道まちづくり基本構想（素案）
- ・資料3：スケジュール（案）
- ・参考資料：日本テレビ通り まちづくり方針（案）地域ルール編

■意見交換等

（1）番町・麴町地域の地区計画の概要について

【事務局（千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課）より資料1を説明】

【質問等なし】

（2）日本テレビ通り まちづくり方針（案）地域ルール編について

【日本テレビ通りまちづくり委員会事務局より参考資料：日本テレビ通り まちづくり方針（案）地域ルール編を説明】

（座長）

◇1 m程度の連続したセットバックということであるが、1 m以上のセットバックという理解でよいか。

（日本テレビ通りまちづくり委員会事務局）

◇そのご理解でよい。

（座長）

◇道路斜線を緩和するとあるが、どの高さまで緩和するかという議論はなかったのか。

（日本テレビ通りまちづくり委員会事務局）

◇これからの議論である。

（3）日本テレビ沿道まちづくり基本構想（素案）について

【事務局（千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課）より資料2を説明】

（座長）

◇7ページの「目指すべき将来像」については、本日ご意見をいただいたら、それを踏まえて文章化していくという理解でよいか。

（事務局）

◇ポイントを5つ示しているが、もっとあるのではないかといったご意見などあればお伺いしたい。

(座長)

◇これまで日テレ通りまちづくり委員会で議論されてきた内容を、皆さんと一緒に議論していくということである。今回は構想の段階なので、大きな方向性、どんなゴールに向かっていくのかということを入れている。いかがか。

(委員)

◇資料の7ページの「目指すべき将来像」について、表現的なことをいうと、ポイント5が他のポイントと重なる部分があるのではないかと思う。例えば、生活利便施設に関する内容はポイント3に、地域コミュニティに関する内容はポイント1に、若干重なるところがあるように思う。その辺りの組み方は一度再考いただいてもよいのではないかと思う。

◇7ページは後ろの方策につながっていると受け取ったが、ポイント3はつながるところがないのではないか。もしあるのであれば記載していただきたい。都市計画的な仕組みが書かれているのかもしれないが、少し読み取れなかったので、追加していただけるとよい。

(事務局)

◇ポイント5については他のポイントとの重複がありそうなので整理したほうがよい、「賑わいの軸」という言葉が適切かどうか整理したほうがよいというご意見でよいか。

ポイント3の中身については、「閑静な住環境の維持」というのは、Aゾーンは守っていくという話であるが、「マンション建替え、相続などの課題への対応」については、対応方針に記載がないのではないかというご意見でよいか。

(委員)

◇よい。

(委員)

◇日テレ通りまちづくり委員会では、将来、日本テレビさんが建築するだろうという事実に基づき、話し合ってきた。その両サイドの住宅地に関してはできれば現状を極力維持したいという気持ちがあった。しかし、1981年5月以前の耐震基準で建てられた建物といった話が出てきており、A地域についてはそれ以前に建てられたマンションもかなりある。ポイント3に示すようなマンションの建替えや相続といった問題が出てきた場合、今住んでいる人たちが建替えてそのまま住み続けるかどうかというところは考えないといけない問題である。そのような問題が出る前に、このような話が出たということで、ポイントとして書いたという解釈の仕方でよいのではないか。そのような問題が住宅地のなかで起きることを想定した上で、今の地区計画で果たして今の居住者がマンションを建替えた場合に住み続けられるかどうかといった問題が今後発生してくると思うので、それを踏まえてという形で、今の段階ではこの表現でもよいのではないかと思う。

(事務局)

◇視点としてこのようなことも大事だと思っている。それを対応方策としてどのように整理するかということは検討したい。

(4) その他

【日本テレビ放送網株式会社より当日配布資料について説明。一部資料は説明後回収。】

(委員)

◇日テレ通りまちづくり委員会では、二番町の開発についての話はあったが、四番町について、今回初めて歩行者ネットワークや自動車動線について示された。特に歩行者のネットワークについてはぜひ四番町にまで伸ばして欲しい。

自動車について、もう少し補足説明をお願いしたい。

(委員〔日本テレビ放送網株式会社〕)

◇個別具体的の中身はまだであるが、南北方向の通行は敷地内でやっていきたいと考えている。

(委員)

◇以前、近隣住民への説明会のなかで、南北方向に対する抜け道がない、人が通れないというご意見があったので、それを考慮されたのかなと推察させていただいた。

日本テレビさんであれば、やろうと思えば自分たちだけで進めることができると思うわけだが、最初に千代田区に本社を構えられたということを考えて、地域に対する貢献度、信頼度を維持していくという形の表れではないかと好意的に見させていただいた番町の庭のような地域貢献は経済原則に則った企業では有り得ないものであり、地域住民の目線に立って動いていただいているのではないかと思う。

初めて四番町という話もあったが、これは5年も6年も先の話で今後どうなるのかというところだと思うが、それを視野に入れた計画を今のうちからご提示いただくというの
はありがたい。

(委員)

◇駐車場附置義務の集合化についてはどのようにお考えか。

(委員〔日本テレビ放送網株式会社〕)

◇二番町については地下を利用する形で考えたい。四番町についても有効活用していくという意味では地下を考えていけないといけないと思うが、現状では、まずは二番町で考えておきたいと思っている。

(委員)

◇高さだけではなく、容積率の緩和の話もあるのではないか。また、高さに対しては神経質な部分があるので、階高を少しずつ落とし、高さも抑えるような考え方も視野に入れていただけるといいと思う。

(委員)

◇容積率の関係も含めて、圧迫感のないような壁面後退の手法を考えていただきたい。

(委員)

◇盆踊りを毎年日本テレビの駐車場で開催しているが、今年は8/3～4の開催を予定してい

る。駐車場での開催は今年で最後となる予定である。広場をつくっていただいて使わせてもらえるとありがたい。現在の計画で広場はどれくらいの大きさになるのか。

(委員〔日本テレビ放送網株式会社〕)

◇番町の庭と南側にある駐車場が空地の面積としてはほぼ同じくらいだと思う。

(委員)

◇駅のバリアフリー化は1箇所だけか。

(委員〔日本テレビ放送網株式会社〕)

◇何箇所になるというのはこの場では申し上げにくいですが、エレベーターとエスカレーターは両方とも必要だと考えており、歩行者動線を加味しながら配置したいと考えている。

(委員)

◇エレベーターやエスカレーターを民地に整備した場合、ランニングコストの負担はメトロになるのか。それとも土地所有者になるのか。

(委員〔日本テレビ放送網株式会社〕)

◇おそらく日本テレビが管理者となり費用負担していくことになると思われる。

(委員)

◇四番町については将来の形がどのようなになるか、できるだけ早い段階で計画を発表してもらえるとありがたい。

(委員〔日本テレビ放送網株式会社〕)

◇2枚目の資料は、これから協議していく部分も含んでいるため、回収させていただく。

(座長)

◇全体を通じて気づいた部分はないか。

(委員)

◇日テレ通りに自転車道を整備するという噂を聞いたが、実際はどうか。

(事務局)

◇確認しておく。

(委員)

◇現在、日テレ通り(日本テレビから麴町大通りの間)の舗装が良くない状態であるので、改善できないか。

(事務局)

◇確認しておく。

■傍聴者の方の意見紹介

- ・傍聴者の方より意見票を回収。
- ・回収した意見票について座長が確認。
- ・事務局より、お名前とご意見を発表。

【ご意見】

○当協議会設置についての議会に対する区の報告によれば、「日テレ通りまちづくり委員会」が『日本テレビ通りまちづくり方針（案）』を取りまとめた。その機運をとらえ協議会を設置し、地域主体のまちづくりを推進する…とあります。

そもそも。前述の委員会は主に対象地域の町会長、その他1名により構成される委員会でありながら、町会長に対する経過、内容の説明・報告は一切されないままに進められており、地域主体のまちづくりとは認めがたいものです。（29年5月23日開催の意見交換会にて、町会員に対する説明の有無を尋ねたところ、麴町の1町会を除き説明をしていないことが明らかとなった。）

28年6月に対住民のアンケートを実施とありますが、多くの住民にアンケートそのものが届いておらず、非常に不完全な住民の意向調査と言わざるを得ません。

2回の意見交換会では「まちづくり方針（案）」について多くの疑問又は反対の声がありながらまた、再三の要求にもかかわらず、現在に至るも議事録の公表を拒否しています。このように民主的とは言い難い、住民不在の「まちづくり方針（案）」を受けての当協議会のあり方については、特に開かれた運営の方針で行われる事を強く要望します。

○基本構想（素案）P.1 1. まちづくりの基本的考え方2 構想の位置づけ「日テレ通りまちづくり委員会をベースに地域の多様な参加を得て検討を進めたもの」とありますが、地域住民の声・意見を汲み取っていない。

まちづくり委員会の意見≠住民の声・意見ではない。この協議会の開催方法（予約制・人数制限アリ、傍聴者意見を言えない）もとても閉鎖的、不透明である。

これだけの規模の計画なので、周辺地域への影響も大きく、早急に周辺住民へ周知する必要がある。

千代田区ウェブサイトへ載せるのでは不十分。

○Bゾーンに隣接するAゾーンで生活する者として次の要望を要求します

①情報を積極的に住民に提供して欲しい（情報共有）

マンションへの直接の説明会の個別開催等

②住民意見の積極的とり込み（パブリックコメント等）

③区の担当部局との意見交換の場の設定等

○四番町の住居ですが、将来の生活が非常に不安がある。出来るだけ早目に計画は知らせてほしいです。

■協議会の日程について

次 回：7／12（木）15：00～

次々回：9／ 3（月）15：00～

以 上